Title 日本少女文化における海外表象の歴史的意義 Sub Title The representations of foreign settings in the historical context of Japanese shojo culture Author 大車、的代Cogushi, Hisayo) Publisher 慶應義塾大学 Publication year 2019 Jatic DOI Abstract 本研究の目的は、日本の少女文化におけるアメリカ文学・文化の受容について、その歴史的背景 を調査いぞえことである。2018年度は、まず明治期に出版された少女内は、女羊の内御護を詰した。『女 學雑誌』『少女の友』を中心に記事を見ていくと、注間で創業の主要を抽出した。『女 學雑誌』「少女の友」を中心に記事を見ていくと、注間で微笑む日人少女の写真の他に、本の西 学人形の紹介や、外国の女子学校の授業風景の写真などが紹介されていることがわみ。また海 外を舞台にした読み物も多く撮戦されており、当時の読者と想定される少女なちは、こうした少 女雑誌から「外国」をイメージしていた可能性がうかがわれる。 第二次世界大戦後に時代を移すと、例えば雑誌『少女』では当時人気イラストレーターであった 高橋真琴が作画を担当したパレエマンガなどが掲載されており、ここでもやはり少女雑誌におけ る海外表象を見つけることができる。さらに『マーガレット』では「あなたもアメリカ式生活を 楽しみましょう」といった記事が掲載され、海外への憧れを募らせるような役割を果たしていた ことが確認された。 こうした海外表象を見つけることができる。さらに『マーガレット』では「あなたきアメリカ式生活を 楽しみましょう」といった記事が掲載され、海外への憧れを募らせるような役割を果たしていた ことが確認された。 こうした海外表象の者使いたりての少女マンガに品ももの映文化の要容は調査が不足しており、今 後はその時期を重点的に調査する必要がある。また1990年代以降は海外を舞台にした少女マンガ が少なくなっている可能性についても今後検討する予定である。 The purpose of this project is to research a history of acceptance of Western culture in the era of Japanese modernization. In the magazines for girls published in Meiji era, there are quite a few articles and pictures which depict Japanese girls who have westernized living environments, the life of Western girls, or their school curricultur . Notes Notes Research Paper URL https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=201800005-20180079	Relo / Sobelated Reposit	tory of Academic resouces
Author 大車,尚代(Ogushi, Hisayo) Publisher 慶應義塾大学 Publication year 2019 Jittle 学事振興資金研究成果実績報告書 (2018.) JaLC DOI Abstract 本研究の目的は、日本の少女文化におけるアメリカ文学・文化の受容について、その歴史的背景 を調査研究することである。2018年度は、まず明治期に出版された少女向け、女学生向けの雑誌 を調査し、そこに登場する海外事情や、海外の女性の暮らしなどに関する記事を抽出した。『女 學雑誌』『少女の友』を中心に記事を見ていくと、洋間で微笑む日人少女の写真の他に、本の西 洋人形の紹介や、外国の女子学校の授業風景の写真などが紹介されていることがわかる。また海 外を舞台にした読み物も多く掲載されており、当時の読者と想定される少女たちは、こうした少 女雑誌から「外国」をイメージしていた可能性がうかがわる。 第二次世界大戦後に時代を移すと、例えば雑誌『少女』では当時人気イラストレーターであった 高橋裏琴が作画を担当したパレエマンガなどが撮載されており、こでもやはり少女雑誌におけ る海外表象を見つけることができる。さらに「マーガレット」では「あなたもアメリカ式生活を 楽しみましょう」といった記事が掲載され、海外への憧れを募らせるような役割を果たしていた ことが確認された。 こうした海外表象には、「自由」や「おしゃれ」といったイメージが付与されていることが多く 、それらが少女マンガ作品にも反映されている。本研究では小野英子、西谷祥子、忠津陽子など の作品から、80年代にかけての少女マンガにみられる海外表象の考察を試みた。 しかしながら、昭和初期から第二次世界大戦にかけての海外な火役登容は調査が不足しており、今 後はその時期を重点的に開達する必要がある。また1990年代以降は海外を舞台にした少女マンガ が少なくなっている可能性についても今後検討する予定である。 The purpose of this project is to research a history of acceptance of Western culture in the era of Japanese modemization. In the magazines for girls published in Meiji era, there are quite a few articles and pictures which depict Japanese for girls published in Meiji era, there are quite a few articles and pictures which depict Japanese girls who have westernized living environments, the life of Western girls, or their school curriculum. Those magazines for girls had a certain role to inspire the yearnings for western culture among young readers (mainly girls). After World War II, the same situation occurred. Those magazines such as _Shojo_or_Margaret_, in which we can find articles introducing a wonderful life of Amercican girls as representations of liberty and fashion. By analyzing the shojo manga works by Hidekok Mizuno, Yoshiko Nishitali, and Yoko Tadatsu, I	Title	日本少女文化における海外表象の歴史的意義
Publisher 慶應義塾大学 Publication year 2019 Jtitle 学事振興賞金研究成果実績報告書 (2018.) JaLC DOI Abstract Abstract 本研究の目的は、日本の少女文化におけるアメリカ文学・文化の受容について、その歴史的背景 を調査研究することである。2018年度は、まず明治期に出版された少女向け・女学生向けの雑誌 を調査し、そこに登場する海外事情や、海外の女性の事らしなどに関する記事を抽出した。『女 學雑誌』『少女の友』を中心に記事を見ていくと、洋間で微笑む日人少女の写真の他に、本の西 洋人形の紹介や、外国の女子学校の授業風景の写真などが紹介されていることがわかる。また海 外を舞台にした読み物も多く掲載されており、当時の読者と想定される少女たちは、こうした少 女雑誌から「外国」をイメージしていた可能性がうかがわれる。 第二次世界大戦後に時代を移すと、例えば雑誌『少女』では当時人気イラストレーターであった 高橋真琴が作画を担当したパレエマンガなどガ撮載されており、ここでもやはり少女雑誌におけ る海外教象を見りることができる。さらに『マーガレッ』っなは「あなたアメリカ式生活を 楽しみましょう」といった記事が掲載され、海外への憧れを募らせるような役割を果たしていた ことが確認された。 こうした海外表象見いすることができる。さらに『マーガレッ』では「あなたアメリカ式生活を 、それらが少女マンガ作品にも反映されている。本研究では水野英子、西谷祥子、忠津陽子など の作品から、80年代にかけての少女マンガによられ海内未教感の考察を記込また。 しかしながら、昭利初期から第二次世界大戦にかけての海外久欠受容は調査が不足しており、今 後はその時期を重点的に調査する必要がある。また1990年代以降は海外を舞台にした少女マンガ が少なくなっている可能性についても今後検討する予定である。 The purpose of this project is to research a history of acceptance of Western culture in the era of Japanese modernization. In the magazines for girls published in Meiji era, there are quite a few articles and pictures which depict Japanese girls who have westernized living environments, the life of Western girls, or their school curriculum. Those magazines for girls had a certain role to inspire the yearnings for western culture and girls as representations of liberty and fashion. By analyzing the shojo manga works by Hideko Mizuno, Yoshiko Nishitani, and Yoko Tadatsu, I shows the significant role for Japanese girls which western representation of liberty and fashion. By analyzing the shojo manga works by Hideko Mizuno, Yoshiko Nishitani, and Yoko Tadatsu, I shows the significant role for Japanese girls which western representation of liberty and fashion. By analyzing the shojo manga works by Hideko Mizuno, Yoshiko Ni	Sub Title	The representations of foreign settings in the historical context of Japanese shojo culture
Publication year 2019 Jitile 学事振興資金研究成果実績報告書 (2018.) JaLC DOI Abstract Abstract 本研究の目的は、日本の少女文化におけるアメリカ文学・文化の受容について、その歴史的背景 を調査研究することである。2018年度は、まず明治期に出版された少女向け・女学生向けの雑誌 を調査し、そこに登場する海外事情や、海外の女性の暮らしなどに関する記事を抽出した。『女 學雑誌』『少女の友』を中心に記事を見ていくと、洋間で微笑む日人少女の写真の他に、本の西 洋人形の紹介や、外国の女子学校の侵襲風景の写真などが紹介されていることがわかる。また海 外を舞台にした読み物も多く掲載されており、当時の読者と想定される少女たちは、こうした少 女雑誌から「外国」をイメージしていた可能性がうかがれる。 第二次世界大戦後に時代を移すと、例えば雑誌『少女』では当時人気イラストレーターであった 高橋真琴が作画を担当したパレエマンガなどが掲載されており、ここでやはり少女雑誌におけ る海外表象を見つけることができる。さらに『マーガレット』では「あなたもアメリカ式生活を 楽しみましょう」といった記事が掲載され、海外への憧れを募らせるような役割を果たしていた ことが確認された。 こうした海外表象には、「自由」や「おしゃれ」といったイメージが付与されていることが多く 、それらガ少女マンガ作品にも反映されている。本研究では水野英子、西谷祥子、忠津陽子など の作品から、80年代にかけての少女マンブによられる海外表象の考察を試みた。 しかしながら、昭和初期から第二次世界大戦にかけての海外文化受容は調査が不足しており、今 後はその時期を重点的に調査する必要がある。また1990年代以降は海外を舞台にした少女マンガ が少なくなっている可能性についても今後検討する予定である。 The purpose of this project is to research a history of acceptance of Western culture in the era of Japanese modernization. In the magazines for girls published in Meiji era, there are quite a few articles and pictures which depict Japanese girls who have westernized living environments, the life of Western girls, or their school curriculum. Those magazines for girls had a certain role to inspire the yearnings for western culture among young readers (mainly girls). After World War II, the same situation occurred. Those magazines such as _Shojo_or _Margaret_, in which we can find articles introducing a wonderfull fie of American girls as representations of liberty and fashion. By analyzing the shojo manga works by Hideko Mizuno, Yoshiko Nishitani, and Yoko Tadatsu, I shows the significant role for Japanese girls which western representation played from 1960s throughout 80s. Notes Genre	Author	大串, 尚代(Ogushi, Hisayo)
Jittle 学事振興資金研究成果実績報告書 (2018.) JaLC DOI 本研究の目的は、日本の少女文化におけるアメリカ文学・文化の受容について、その歴史的背景 を調査研究することである。2018年度は、まず明治期に出版された少女向け・女学生向けの雑誌 を調査し、そこに登場する海外事情や、海外の女性の暮らしなどに関する記事を抽出した。『女 學雑誌』『少女の友』を中心に記事を見ていくと、洋間で微笑む日人少女の写真の他に、本の西 洋人形の紹介や、外国の女子学校の授業風景の写真などが紹介されていることがわかる。また海 外を舞台にした読み物も多く掲載されており、当時の読者と想定される少女たちは、こうした少 女雑誌から「外国」をイメージしていた可能性がうかがわれる。 第二次世界大戦後に時代を移すと、例えば雑誌『少女』では当時人気イラストレーターであった 高橋真琴が作価を担当したパレエマンガなどが掲載されており、ここでもやはり少女雑誌におけ る海外表象を見つけることができる。さらに『マーガレット』では「あなたもアメリカ式生活を 楽しみましょう」といった記事が掲載され、海外への憧れを募らせるような役割を果たしていた ことが確認された。 こうした海外表象には、「自由」や「おしゃれ」といったイメージが付与されていることが多く 、それらが少女マンガ作品にも反映されている。本研究では水野英子、西谷祥子、忠津陽子など の作品から、80年代にかけての少女マンガによられる海外表象の考察を試みた。 しかしながら、昭和初期から第二次世界大戦にかけての海外支化受容は調査が不足しており、今 後はその時期を重点的に調査する必要がある。また1990年代以降は海外を舞台にした少女マンガ が少なくなっている可能性についても今後検討する予定である。 The purpose of this project is to research a history of acceptance of Western culture in the era of Japanese modernization. In the magazines for girls published in Meiji era, there are quite a few articles and pictures which depict Japanese girls who have westernized living environments, the life of Western girls, or their school curriculum. Those magazines for girls had a certain role to inspire the yearnings for western culture among young readers (mainly girls). After World War II, the same situation occurred. Those magazines for girls had a certain role to inspire the yearnings for western culture among young readers (mainly girls). After World War II, the same situation accurred. Those magazines for girls had a certain role to inspire the yearnings for western culture among young readers (mainly girls). After World War II, the same situation accurred. Those magazines for girls had a certain role to inspire the yearnings for western culture among young readers (mainly girls). After World Warl II, the same situation accurred. Those magazines for girls had	Publisher	慶應義塾大学
Jalc Dol Abstract 本研究の目的は、日本の少女文化におけるアメリカ文学・文化の受容について、その歴史的背景 を調査研究することである。2018年度は、まず明治期に出版された少女向け・女学生向けの雑誌 を調査し、そこに登場する海外事情や、海外の女性の暮らしなどに関する記事を抽出した。「女 學雑誌』『少女の友』を中心に記事を見ていくと、洋間で微笑む日人少女の写真の他に、本の西 洋人形の紹介や、外国の女子学校の授業風景の写真などが紹介されていることがわかる。また海 外を舞台にした読み物も多く掲載されており、当時の読者と想定される少女たちは、こうした少 女雑誌から「外国」をイメージしていた可能性がうかがわれる。 第二次世界大戦後に時代を移すと、例えば雑誌『少女』では当時人気イラストレーターであった 高構真琴が作画を担当したパレエマンガなどが掲載されており、こでもやはり少女雑誌におけ る海外表象を見つけることができる。さらに『マーガレット』では「あなたもアメリカガェ生活を 楽しみましょう」といった記事が掲載され、海外への憧れを募らせるような役割を果たしていた ことが確認された。 こうした海外表象には、「自由」や「おしゃれ」といったイメージが付与されていることが多く 、それらが少女マンガ作品にも反映されている。本研究では水野英子、西谷祥子、忠津陽子など の作品から、80年代にかけての少女マンガにみられる海外表象の考察を試みた。 しかしながら、昭和初期から第二次世界大戦にかけての海外文化受容は調査が不足しており、今 後はその時期を重点的に調査する必要がある。また1990年代以降は海外を舞台にした少女マンガ が少なくなっている可能性についても今後検討する予定である。 The purpose of this project is to research a history dacceptance of Western culture in the era of Japanese modernization. In the magazines for girls published in Meiji era, there are quite a few articles and pictures which depict Japanese girls who have westernized living environments, the life of Western girls, or their school curriculum. Those magazines for girls had a certain role to inspire the yearnings for western culture and sagaines such as Shojo_ or Margaret_, in which we can find articles introducing a wonderful life of Mesican girls as representations of liberty and fashion. By analyzing the shojo manga works by Hideko Mizuno, Yoshiko Nishitani, and Yoko Tadatsu, I shows the significant role for Japanese girls which western representation played form 1960s throughout 80s. Notes Genre	Publication year	2019
Abstract 本研究の目的は、日本の少女文化におけるアメリカ文学・文化の受容について、その歴史的背景 を調査研究することである。2018年度は、まず明治期に出版された少女向け・女学生向けの雑誌 を調査し、そこに登場する海外事情や、海外の女性の暮らしなどに関する記事を抽出した。『女 學雑誌』『少女の友』を中心に記事を見ていくと、洋間で微笑む日人少女の写真の他に、本の西 洋人形の紹介や、外国の女子学校の授業風景の写真などが紹介されていることがわかる。また海 外を舞台にした読み物も多く掲載されており、当時の読者と想定される少女たちは、こうした少 女雑誌から「外国」をイメージしていた可能性がうかがわれる。 第二次世界大戦後に時代を移すと、例えば雑誌『少女』では当時人気イラストレーターであった 高橋真琴が作画を担当したパレエマンガなどが掲載されており、こでもやはり少女雑誌におけ る海外表象を見つけることができる。さらに『マーガレット』では「あなたもアメリカ式生活を 楽しみましょう」といった記事が掲載され、海外への憧れを募らせるような役割を果たしていた ことが確認された。 こうした海外表象には、「自由」や「おしゃれ」といったイメージが付与されていることが多く 、それらが少女マンガ作品にも反映されている。本研究では小野英子、西谷祥子、忠津陽子など の作品から、80年代にかけての少女マンガにみられる海外表象の考察を試みた。 しかしながら、昭和初期から第二次世界大戦にかけての海外文化受容は調査が不足しており、今 後はその時期を重点的に調査する必要がある。また1990年代以降は海外を舞台にした少女マンガ が少なくなっている可能性についても今後検討する予定である。 The purpose of this project is to research a history of acceptance of Western culture in the era of Japanese modernization. In the magazines for girls published in Meiji era, there are quite a few articles and pictures which depict Japanese girls who have westernized living environments, the life of Western girls, or their school curriculum. Those magazines for girls had a certain role to inspire the yearnings for western culture as magazines for girls published in Meiji era, there are quite a few articles and pictures which depict Japanese girls who have westernized living environments, the life of Western girls, or their school curriculum. Those magazines for girls had a certain role to inspire the yearnings for western culture and magazines for girls published in Meiji as representations of liberty and fashion. By analyzing the shojo manga works by Hideko Mizuno, Yoshiko Nishitani, and Yoko Tadatsu, I shows the significant role for Japanese girls which western representation played from 1960s throughout 80s. Notes Genre Research Paper Compation and a contain played	Jtitle	学事振興資金研究成果実績報告書 (2018.)
を調査研究することである。2018年度は、まず明治期に出版された少女向け・女学生向けの雑誌 を調査し、そこに登場する海外事情や、海外の女性の著らしなどに関する記事を抽出した。『女 學雑誌』『少女の友』を中心に記事を見ていくと、洋間で微笑む日人少女の写真の他に、本の西 洋人形の紹介や、外国の女子学校の授業風景の写真などが紹介されていることがわかる。また海 外を舞台にした読み物も多く掲載されており、当時の読者と想定される少女たちは、こうした少 女雑誌から「外国」をイメージしていた可能性がうかがわれる。 第二次世界大戦後に時代を移すと、例えば雑誌『少女』では当時人気イラストレーターであった 高橋真琴が作画を担当したバレエマンガなどが掲載されており、ここでもやはり少女雑誌におけ る海外表象を見つけることができる。さらに『マーガレット』では「あなたもアメリカ式生活を 楽しみましょう」といった記事が掲載され、海外への憧れを募らせるような役割を果たしていた ことが確認された。 こうした海外表象には、「自由」や「おしゃれ」といったイメージが付与されていることが多く 、それらが少女マンガ作品にも反映されている。本研究では水野英子、西谷祥子、忠津陽子など の作品から、80年代にかけての少女マンガにみられる海外表象の考察を試みた。 しかしながら、昭和初期から第二次世界大戦にかけての海外文化受容は調査が不足しており、今 後はその時期を重点的に調査する必要がある。また1990年代以降は海外を舞台にした少女マンガ が少なくなっている可能性についても今後検討する予定である。 The purpose of this project is to research a history of acceptance of Western culture in the era of Japanese modernization. In the magazines for girls published in Meiji era, there are quite a few articles and pictures which depict Japanese girls who have westernized living environments, the life of Western girls, or their school curriculum. Those magazines for girls had a certain role to inspire the yearnings for western culture among young readers (mainy girls). After World War II, the same situation occurred. Those magazines such as_Shojo_ or_Margaret_, in which we can find articles introducing a wonderful life of American girls as representations of liberty and fashion. By analyzing the shojo manga works by Hideko Mizuno, Yoshiko Nishitani, and Yoko Tadatsu, I shows the significant role for Japanese girls which western representation played from 1960s throughout 80s.	JaLC DOI	
Genre Research Paper	Abstract	を調査研究することである。2018年度は、まず明治期に出版された少女向け・女学生向けの雑誌 を調査し、そこに登場する海外事情や、海外の女性の暮らしなどに関する記事を抽出した。『女 學雑誌』『少女の友』を中心に記事を見ていくと、洋間で微笑む日人少女の写真の他に、本の西 洋人形の紹介や、外国の女子学校の授業風景の写真などが紹介されていることがわかる。また海 外を舞台にした読み物も多く掲載されており、当時の読者と想定される少女たちは、こうした少 女雑誌から「外国」をイメージしていた可能性がうかがわれる。 第二次世界大戦後に時代を移すと、例えば雑誌『少女』では当時人気イラストレーターであった 高橋真琴が作画を担当したバレエマンガなどが掲載されており、ここでもやはり少女雑誌におけ る海外表象を見つけることができる。さらに『マーガレット』では「あなたもアメリカ式生活を 楽しみましょう」といった記事が掲載され、海外への憧れを募らせるような役割を果たしていた ことが確認された。 こうした海外表象には、「自由」や「おしゃれ」といったイメージが付与されていることが多く 、それらが少女マンガ作品にも反映されている。本研究では水野英子、西之祥子、忠津陽子など の作品から、80年代にかけての少女マンガにみられる海外表象の考察を試みた。 しかしながら、昭和初期から第二次世界大戦にかけての海外文化受容は調査が不足しており、今 後はその時期を重点的に調査する必要がある。また1990年代以降は海外を舞台にした少女マンガ が少なくなっている可能性についても今後検討する予定である。 The purpose of this project is to research a history of acceptance of Western culture in the era of Japanese modernization. In the magazines for girls published in Meiji era, there are quite a few articles and pictures which depict Japanese girls who have westernized living environments, the life of Western girls, or their school curriculum. Those magazines for girls had a certain role to inspire the yearnings for western culture among young readers (mainly girls). After World War II, the same situation occurred. Those magazines such as _Shojo_ or _Margaret_, in which we can find articles introducing a wonderful life of American girls as representations of liberty and fashion. By analyzing the shojo manga works by Hideko Mizuno, Yoshiko Nishitani, and Yoko Tadatsu, I shows the significant role for Japanese girls which western representation played
Genre Research Paper	Notes	
		Research Paper
	URL	

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって 保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

2018 年度 学事振興資金(個人研究)研究成果実績報告書

ついて」

研究代表者	所属	文学部	職名	教授	補助額	200 (B	(B)	千円		
	氏名	大串 尚代	氏名(英語)	Hisayo Ogushi				,		
日本少女文化における海外表象の歴史的意義										
研究課題(英訳)										
The Representations of Foreign Settings in the Historical Context of Japanese Shojo Culture										
1. 研究成果実績の概要										
本研究の目的は、日本の少女文化におけるアメリカ文学・文化の受容について、その歴史的背景を調査研究することである。2018 年 度は、まず明治期に出版された少女向け・女学生向けの雑誌を調査し、そこに登場する海外事情や、海外の女性の暮らしなどに関す る記事を抽出した。『女學雑誌』『少女の友』を中心に記事を見ていくと、洋間で微笑む日人少女の写真の他に、本の西洋人形の紹介										
や、外国の女子学校の授業風景の写真などが紹介されていることがわかる。また海外を舞台にした読み物も多く掲載されており、当時 の読者と想定される少女たちは、こうした少女雑誌から「外国」をイメージしていた可能性がうかがわれる。										
第二次世界大戦後に時代を移すと、例えば雑誌『少女』では当時人気イラストレーターであった高橋真琴が作画を担当したバレエマ										
ンガなどが掲載されており、ここでもやはり少女雑誌における海外表象を見つけることができる。さらに『マーガレット』では「あなたもアメ リカ式生活を楽しみましょう」といった記事が掲載され、海外への憧れを募らせるような役割を果たしていたことが確認された。 こうした海外表象には、「自由」や「おしゃれ」といったイメージが付与されていることが多く、それらが少女マンガ作品にも反映されてい										
る。本研究では水野英子、西谷祥子、忠津陽子などの作品から、80年代にかけての少女マンガにみられる海外表象の考察を試みた。 しかしながら、昭和初期から第二次世界大戦にかけての海外文化受容は調査が不足しており、今後はその時期を重点的に調査する										
必要がある。ま	た 1990 年代以	降は海外を舞台にした少女マ	ンガが少なくな	っている可能性についても今	後検討する予定	である) ₀			
2.研究成果実績の概要(英訳)										
The purpose o	f this project is	to research a history of acc	eptance of We	stern culture in the era of Ja	apanese modern	izatio	n. In	the		
magazines for girls published in Meiji era, there are quite a few articles and pictures which depict Japanese girls who have										
westernized living environments, the life of Western girls, or their school curriculum. Those magazines for girls had a certain role to										
inspire the yearnings for western culture among young readers (mainly girls).										
After World War II, the same situation occurred. Those magazines such as _Shojo_ or _Margaret_, in which we can find articles introducing a wonderful life of American girls as representations of liberty and fashion. By analyzing the shojo manga works by Hideko										
Mizuno, Yoshiko Nishitani, and Yoko Tadatsu, I shows the significant role for Japanese girls which western representation played from										
1960s throughout 80s.										
。 3. 本研究課題に関する発表										
発表者 (著者・	皆氏名 講演者)	発表課題名 (著書名・演題)		発表学術誌名	学術誌発 (著書発行年月	らうしていていていていていていていていていています。 ういです いうしょう いっしょう いっしょう いっしょう しんしょう しんしょ しんしょ	 月 演 年.	月)		
大串尚代		" American Frontier Spir		•	2018年8月29					
		Japanese Girls' Comics."	Japane	se Girls' Comics."						
大串尚代		「ぼんやりと考える――吉本1 初期作品と少女マンガ的雰囲		カ』	2019 年 2 月号					